

廿日市市大野地域景況調査報告書（2022年10月～2023年3月）

1. 旧廿日市市及び広島県内商工会地域における2022年10月～2023年3月のDI値（景気動向指数）

		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業	
		前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し	前年比	来期見通し
売上	大野地域	▲33.3	▲33.3	▲100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	旧廿日市市	▲4.5	▲2.3	▲40.0	▲20.0	▲22.2	▲33.3	11.8	17.6
	県内商工会地域	4.4	22.2	4.5	▲8.9	▲25.7	▲29.0	▲25.7	▲10.7
仕入単価	大野地域	100.0	66.7	100.0	100.0	66.7	100.0	66.7	33.3
	旧廿日市市	100.0	50.0	100.0	80.0	77.8	66.7	68.8	43.8
	県内商工会地域	79.5	65.9	72.7	63.6	64.3	64.3	67.7	59.4
採算	大野地域	▲33.3	▲33.3	▲66.7	▲33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
	旧廿日市市	23.1	9.1	20.0	11.1	11.1	▲11.1	23.5	29.4
	県内商工会地域	▲20.0	▲4.5	▲26.7	▲25.0	▲42.1	▲23.2	▲44.4	▲36.4

上記DI値からみた大野地域、旧廿日市市及び広島県内の景気動向であるが、売上については前年同期と比べて横ばいもしくは若干の改善が見られる。また採算については概ね横ばいとなっている。これについては仕入単価をみるとすべての業種で単価がアップしたと答えており、特に大野地域、旧廿日市市においてはDI値が100となっていることも多く、これはすべての事業者が「仕入単価がアップした」と回答したということでもあり、仕入単価の上昇が採算に大きく影響を及ぼしていることが分かる。

次に業種別に動向を見ていくと、製造業は前年同期と比べると大野地域において売上は概ね横ばいとなっているが、県内商工会地域は改善の傾向が伺える。また、仕入単価は前年同期と比べるとアップとなっているものの、来期の見通しとすれば現状からの横ばいも含めて落ち着いた傾向である。

建設業については、大野地域及び旧廿日市市においては改善が見られるが、仕入単価の上昇は対前年比だけでなく次期の見通しとしてもさらに上昇するとの予測となっている。なお、広島県内の商工会地域においては、売上は悪化、業績は横ばいとなっている。

卸・小売業においては、大野地域においては横ばいであるものの、旧廿日市市、広島県内商工会地域においては悪化の傾向となっており今後の見通しも同様である。また、仕入単価も上昇し続けるとの予測であり、採算は厳しいとの見方となっている。

サービス業においては、大野地域、旧廿日市市においては前年同期より改善が見られ、今後の予測も改善の傾向であり、採算においても同様である。一方で、広島県内商工会地域においては、前年同期と比べると売上の悪化は見られるものの、来期の見通しとしては改善傾向にあることが伺える。

2. 大野地域サポーターの声

上記の、旧廿日市市及び広島県内の商工会地域の景況を踏まえたうえで、大野地域サポーターの2022年10～2023年3月の景況感下記のとおりであった。

業種	サポーターの声
【製造業】	○仕入材料の高騰により見積回数が激増している。

	○売上は値上げもあって回復傾向であるが、材料費だけでなく人手不足や人件費高騰など課題は多い。 ○輸送費の関係で輸入物の材料が高騰している。 ○戸建て住宅については好調ではあるが、材料費高騰で価格が合わない。
【建設業】	○売上は上昇しているが、材料費、外注費、人件費すべてが値上がりしている。 ○材料費の高騰は2023年4月からさらに10～20%アップする。 ○廿日市市の入札については2023年度からは市外業者も加わるため、厳しい価格競争が予想される。
【卸・小売業】	○売上は客単価減少により回復しているとは言い難い。それは生活スタイルがコロナにより変わったことも原因として考えられる。 ○特に高齢者などは買い控えを感じるなど、節約感が強い。 ○イベントについては回復傾向が感じられる。 ○日用品などは仕入単価が下がらないが、価格転換はし難い。
【サービス業】	○コロナの全数把握がなくなり、落ち着いてきた感がある。 ○イベントについては増加していると感じる。 ○飲食店については、観光はまだまだコロナ前には戻らないが、常連客を対象としている店舗は好調で、差が激しい。

3. 全国商工会地域における2023年2月のDI値（景気動向指数）

～景気回復から明るい兆しが見えるも、採算の低調が続く小規模企業景況～

DI	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲3.6	0.8	4.4	▲0.4	4.9	5.3	▲0.5	3.9	4.4
採算	▲50.5	▲45.7	4.8	▲54.9	▲51.7	3.2	▲52.3	▲45.4	6.9
資金繰り	▲37.7	▲35.9	1.8	▲39.9	▲38.2	1.7	▲37.8	▲34.9	2.9
業況	▲33.5	▲29.9	3.6	▲34.8	▲32.1	2.7	▲35.5	▲25.7	9.8

DI	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲12.6	▲9.6	3.0	▲1.1	3.9	5.0
採算	▲57.1	▲50.4	6.7	▲37.5	▲35.4	2.1
資金繰り	▲45.9	▲43.0	2.9	▲27.1	▲27.6	▲0.5
業況	▲43.1	▲39.9	3.2	▲20.4	▲21.8	▲1.4

<製造業> …需要回復への見込から受注が好調も、採算DIが低迷する製造業

<建設業> …コスト高騰に係る価格転換への対応で、明暗が分かれる建設業

<小売業> …需要回復の兆しから売上高DIは上向くも、採算DIが低水準で低迷する小売業

<サービス業> …需要は高まるもコスト高騰の影響から、採算の改善までいたらないサービス業